

2026年公表 各専攻アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）
（2027年4月入学者向け）

研究科	臨床教育学研究科	
専攻	臨床教育学専攻	博士後期課程
<p>武庫川大学大学院臨床教育学研究科臨床教育学専攻博士後期課程では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいた、本専攻のディプロマ・ポリシーを理解したうえで、本専攻のカリキュラム・ポリシーに則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有し、研究者として自立して研究活動を行う意向を持つ人の入学を受入れます。</p>		
知識	<p>社会を理解し、専門とする臨床教育学、教育学、臨床心理学に関する高度な研究能力を身につけるために必要な基礎学力を有している。 多様化・複雑化する社会で生じる様々な事象について、それが生じる背景や要因を紐解き、理解するために必要な知識を有している。</p>	
	<p>関連する領域における諸問題とその理解に必要な基礎的な知識を有している。 対人援助に関わる研究者、高度専門職者を目指す者として、関連する領域における諸問題とその理解に必要な知識やスキルを有している。</p>	
姿勢	<p>自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 人権を尊重しながら、前例に捕われることなく、問題解決のために果敢に挑戦し続けるしなやかな姿勢を身につけている。</p>	
	<p>臨床現場で生じる課題に関して、総合的・複合的な観点から解決策を探ろうとする意欲を有している。</p>	
	<p>研究倫理を重んじ将来にわたって研究を継続し、研鑽を重ねる姿勢を有している。</p>	
行動	<p>自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 臨床的諸課題を理解し、それを解決するために、既存の価値に捕らわれず、学際的な視点から新たな価値と方策を創りだそうと努力することができる。</p>	
	<p>多様な価値観を受入れつつ、様々な職種や立場の人々と連携しながら、複眼的な視点をもって課題に対峙することができる。</p>	